



ZENMU for PC Ver 5.4

マニュアル

インストール・アンインストール編

インストール・アンインストール編では、ZENMU for PC ご利用前にご確認頂きたい内容、インストールおよびアンインストール方法を記載しています。

株式会社 ZenmuTech

目次

1. はじめに.....	3
1.1. ZENMU for PC (ZPC) の特徴について.....	3
1.2. 秘密分散について.....	4
1.3. ZENMU for PC (ZPC) のシステム要件.....	4
1.4. インストール前・後の注意事項	7
1.4.1. 資産管理ソフトの動作許可の exe、セキュリティ対策ソフトのスキャン除外対象のフォルダー／ファイル	7
1.4.2. 資産管理ソフト・セキュリティソフトの更新許可のフォルダー	8
1.4.3. 資産管理ソフト・セキュリティソフトの更新許可のレジストリ	8
1.4.4. Windows のスリープの設定と、高速スタートアップの設定の解除について	9
1.4.5. POP 版 Microsoft Outlook をご使用中の場合の注意	11
1.5. ZENMU for PC (ZPC) の用語説明	11
2. インストール.....	14
2.1. インストール時の注意事項.....	14
2.2. インストール方法（新規）	14
2.3. インストール方法（ZPC ver5.x からのアップグレード）	17
2.4. インストール方法（旧製品および ZENMU for PC ver3.x・4.x からのアップグレード）	22
3. アンインストール	24
3.1. ZENMU モードの仮想ドライブの削除.....	24
3.2. 非 ZENMU モードの仮想ドライブの削除	27
3.3. Windows の設定メニューからのアンインストール	28
4. その他のインストール・アンインストール方法（コマンド・MSI セットアップ）	31
4.1. 留意点	31
4.2. setup.exe を使用したコマンドでのサイレントインストール方法	31
4.3. setup.exe を使用したコマンドでのサイレントアンインストール方法.....	32
4.4. MSI セットアップでのインストール.....	32
4.5. MSI セットアップでのアンインストール	32
5. 保証と責任の限定.....	33
5.1. 保証と責任の限定	33
5.2. 利用上のご注意	33
6. お問い合わせ先	34
6.1. お問い合わせをされる前に.....	34
6.2. お問い合わせ先.....	34
6.3. お問い合わせ時に必要な情報.....	35

版	発行日	ZPC ver.5.3 から変更事項
第 1 版	2025/6	初版発行
		変更 : 1.3. ARM 製の CPU について説明を追加
		変更 : 1.4. 資産管理ソフト、セキュリティ対策ソフトの事前設定を必ず実施して頂く必要がある説明を追加。
		変更 : 1.4.5. POP 版 Outlook フォルダーを Junction で移動する場合、問題が発生する可能性について追記
		変更 : 2.3. アップグレードインストール方法をについて説明を追加、msi ファイルを利用したアップグレードインストールの注意事項を追加
		変更 : 4.2.・4.3. コマンドプロンプトは「管理者として実行」する注意事項を追加

1. はじめに

本書では、ZENMU for PC（以下 ZPC）ご利用前にご確認頂きたい内容、インストールおよびアンインストール方法を記載します。

1.1. ZENMU for PC（ZPC）の特徴について

ZPC では、独自の秘密分散テクノロジーにより、作成した仮想ドライブのデータを PC と外部ストレージ上に**秘密分散**して保存します。仮想ドライブのデータは PC と外部ストレージ上のデータが揃った場合のみ復元可能で、PC 単体では復元不可能なセキュリティ製品です。

PC の盗難・紛失時も PC のデータのみでは仮想ドライブのデータを復元できず、仮想ドライブ上に保存したユーザーのデータを守ることが可能です。

仮想ドライブは ZENMU モードと非 ZENMU モードがあります。詳細は、別マニュアル「**2_ZENMU_for_PC_Ver5.4_マニュアル_運用編**」 - 「**1.1.4. ZENMU モードと非 ZENMU モードについて**」をご参照ください。

■ ZENMU モード

ZENMU モードは仮想ドライブをマウントしていない場合は、ご利用者が PC を通常利用できない様に制御することを目的としたモードです。

ZENMU モードで仮想ドライブを作成した Windows ユーザーが Windows サインイン後、ZENMU モードスタート画面が表示されます。



仮想ドライブをマウントしていない場合は、デスクトップおよび Windows メニューが使用できません。

ZENMU モードのデフォルトの設定では、デスクトップや、ドキュメント等 Windows の既知のフォルダーが仮想ドライブに移動されます。これにより、ご利用者が意識することなく、仮想ドライブ上にファイルを保存することが可能です。

仮想ドライブをアンマウントしている場合は、仮想ドライブが PC の分散ファイル 1 と外部ストレージの分散ファイル 2 に秘密分散保存され、無意味なデータになります。仮想ドライブに保存されているデータは秘密分散された仮想ドライブ内に保存されているため、アクセスすることは出来ません。そのため、PC の紛失・盗難時に情報漏洩防止になります。

■ 非 ZENMU モード

非 ZENMU モード（ZENMU モード以外）は、仮想ドライブのみを作成します。

仮想ドライブ利用時のみ PC を利用できる ZENMU モードとは異なり、通常に Windows にユーザーでサインインするとデスクトップが表示されます。重要なデータを保存する際には仮想ドライブをマウントして保存し、移動時や離籍時は仮想ドライブをアンマウントすることで、重要なデータの保存場所としてご利用頂く場合等にご利用可能です。

1.2. 秘密分散について

重要な情報を漏えいや盗難から守るために、古くから様々な「暗号化」手法が用いられています。

情報セキュリティにおいて、暗号化は原本に鍵をかけるイメージです。鍵を盗まれたり解かれたりすると原本が漏えいしてしまいます。

この鍵を守るためには鍵を使わない方式が必要、ということで考えられたのが「秘密分散」技術です。

RSA 暗号の生みの親として有名なシャミア博士（Dr.Shamir）が 1979 年に考案した技術で、n 個の分散片のうち k 個が揃わなければ元の情報を復元することができないという符号化手法で、暗号化と異なり鍵管理が不要という特徴があります。具体的な例として、元の情報を秘密分散技術によって 3 つの分散片に分けることを考えます。この 3 つの分散片のうち、いずれか 2 つの分散片を集めると元の情報を復元できますが、1 つだけでは何の情報も得られない、という技術です。この一つ一つの分散片はそれぞれ意味のないデータになっていますので、その分散片 1 つだけ抜き取って中を見ても何も分からない、というものです。

より詳しい情報は、ZenmuTech の Web サイトに記載されていますので、ご参照ください。

<https://www.zenmotech.com/ss>

1.3. ZENMU for PC (ZPC) のシステム要件

- ハードウェア要件
 - 推奨ストレージ：SSD
 - 推奨メモリー：8GB 以上（最低スペック 4GB）
- ソフトウェア要件
 - iTunes Ver 11.1 以上：外部ストレージとして iPhone を USB 接続で使用する場合
 - ZenmuBT（Android 専用アプリケーション）：外部ストレージとして Android を Bluetooth 接続で使用する場合
 - ZenmuBLE（iPhone 専用アプリケーション）：外部ストレージとして iPhone を Bluetooth LE（BLE）接続で使用する場合
- OS 要件
 - Windows 10 バージョン 1809 以降（32bit/64bit）、Windows 10 IoT（32bit/64bit）
 - Windows 11 バージョン 21H2 以降（64bit）、Windows 11 IoT（64bit）

基本的には Microsoft がサポートしているバージョンに準じます。基本的には、Windows10 v1809 以降、Windows11 v21H2 以降は問題なく動作します。ただし、Microsoft のサポート期間が終了した場合、デバイスのドライバ等が更新されなくなるため、サポート期間内のバージョンをご利用することをご推奨します。

なお、Windows10 v1803 以前は Bluetooth LE（BLE）通信に Windows が対応していないため、外部ストレージに iPhone BLE 接続はご利用できません。

【Windows11 の大型アップデート（24H2 など）のリリース後の ZPC の対応状況について】

年に 1 度の Windows11 の大型アップデート（24H2 など）の対応は、大型アップデートがリリースされてから ZPC の動作試験を行います。大型アップデートに問題が存在しない場合は、リリースから約 1 か月程度で ZPC の試験を終了し、ZenmuTech Web サイトのサポートページに Windows11 の新しいバージョンの対応情報を更新します。

<https://www.zenmotech.com/support>

ただし、大型アップデートの影響で ZPC に変更が必要になった場合は、Windows の変更に対応した ZPC バージョンがされるまで制限事項を掲載します。また、Windows11 24H2 の様に、リリース当初に新しいバージョンの問題が多く存在する場合も制限事項やご注意事項を掲載します。

- CPU 要件

- インテル Core™ i3 以上

- ※ **ARM 製の CPU は対応していません**(Surface Pro 9 With 5G(Microsoft SQ® 3 プロセッサ)など)。ARM 製の CPU を搭載していない、Windows10/11 の PC でのご利用をお願いいたします。また、現時点では今後対応する予定はございません。そのため、Surface Pro 9 With 5G(Microsoft SQ® 3 プロセッサ)等 ARM 製の CPU を使用している PC では、ZPC をご利用することができません。ご了承ください。

ARM 製の CPU は Windows のエミュレーション機能を使用して動作させています。ZPC のドライバ (ZenmuDisk) など、Intel 社や AMD 社の x86 (x64) アーキテクチャの CPU で動作するドライバは、ARM アーキテクチャに対応していません。

ZPC を ARM アーキテクチャに対応させるには、新たにドライバ等を開発することになり、将来対応させることになったとしても、すぐにリリースできるものではありません。

また、各種外付けデバイスがドライバの問題で利用できなくなる可能性もあり、オフラインストレージである USB メモリーや、フルバックアップ先として選択可能な USB 接続の外付け HDD/SSD が利用できなくなることが考えられます。

- 外部ストレージ要件

- ・ USB メモリー：USB2.0 以上 (USB3.0/1GB 以上を推奨)

- ※ 注：VID (Vendor ID)、PID (Product ID)、シリアルナンバーを保持している **USB メモリー規格に準拠**している USB メモリーのみが対象です。ZPC は仮想ドライブの分散ファイル 2 等が保存されている USB メモリーであることを確認するために VID、PID、UID を確認します。ユニークな UID が付与されていない USB メモリーはご利用が出来ません。特に OEM 製品はユニークな UID が付与されていない場合があります。(ある程度有名なメーカーでも OEM の場合があります。必要に応じてメーカーにご確認をお願い致します。)

※注意

VID (Vendor ID)、PID (Product ID)、シリアルナンバーを保持する USB メモリーのみ対象

- ・ iPhone (USB 接続の場合)：モデル iPhone 5c 以上、iOS7 以上

- iPhone（Bluetooth LE(BLE)接続の場合）：モデル iPhone 6 以上、iOS11 以上

※注意

ZPC ver5.3.1 以上では iPhone Bluetooth LE(BLE)接続について、接続の安定性を大幅に見直しております。（ただし、PC 内蔵 Bluetooth アダプターによっては、BLE 接続が不安定になる可能性が無いとは言えません。）

ZPC ver.5.3.0 以下をご利用の場合は、iPhone BLE 接続については、PC 内蔵 Bluetooth では安定して動作しない機種があります。そのため、**ZPC ver.5.3.1 以上**をご利用することを強く推奨します。

また、ver.5.3.0 以下をご利用の場合、ver5.3.1 以上をご利用して iPhone BLE 接続が不安定な場合は、**Bluetooth USB アダプターをご使用**いただくことを推奨いたします。

■ 動作検証済みの Bluetooth USB アダプターは次の通りです。

- **CSR : CSR 4.0**
- **ELECOM : LBT-UAN05C2/N**

- Android : Android5.1 以上

- 暗号化 USB メモリー（外部ストレージとして利用）

- BUFFALO 社の暗号化 USB メモリー RUF3-HS シリーズ
- エムコマス社の指紋認証 USB メモリー（Biocryptodisk）

上記以外の特殊 USB メモリ（暗号化・指紋認証付き等）は、保証対象外です。お客様にて検証をお願いしております。なお、暗号化を複合して表示されるドライブを Windows が「USB ドライブ」として認識する必要があります。

Windows が「ローカルディスク」・「リムーバブル」（SSD カード等）と認識し、USB メモリーと認識しない場合は、外部ストレージ選択時のプルダウンリストに表示されません、ご注意ください。



1.4. インストール前・後の注意事項

資産管理ソフト、セキュリティ対策ソフトの事前設定を必ず実施をお願い致します。

仮想ドライブを作成した時は問題が発生しなくとも、セキュリティ対策ソフトのパッチをアップデート後に ZPC の exe やサービス、ドライバーがセキュリティ対策ソフトに削除されることがあります。また、ZPC が設定しているレジストリがデフォルトの状態に戻されることがあります。

その場合は仮想ドライブがマウントできなくなり、ZPC の再インストールや手動によるレジストリの設定が必要になります。

※注意

資産管理ソフト、セキュリティソフト（ウイルス対策ソフト）を導入している環境で ZPC をご利用の場合は、ZPC のインストール後、仮想ドライブ作成前に以下のフォルダー・ファイル、レジストリキーに対してスキャン・変更管理等の対象外の設定を行ってください。

また、セキュリティソフトをご利用する際は、最新のパッチを適用された上でインストールすることをご推奨します。

1.4.1. 資産管理ソフトの動作許可の exe、セキュリティ対策ソフトのスキャン除外対象のフォルダー／ファイル

- ZPC のインストーラーファイル
インストール時に ZPC のインストーラーの exe または、msi ファイルの実行が、資産管理ソフト、セキュリティソフト制御される等問題が発生した場合は、インストールを任意のフォルダーに配置し、除外設定を行ってください。
 - ・ Setup_5.4.x.exe
 - ・ ZENMUforPC_5.4.x_x64.msi
 - ・ ZENMUforPC_5.4.x_x86.msi
- ZPC の exe ファイル
 - ・ フォルダー
 - C:¥Program Files¥ZenmuTech¥ZenmuPC¥bin
 - ・ または C:¥Program Files¥ZenmuTech¥ZenmuPC¥bin フォルダーの以下の「exe」ファイル（17 ファイル）、「dll」ファイル（4 ファイル）
 - AppShutdown.exe
 - BleAgent.exe
 - BtAgent.exe
 - ChgUsersShell.exe
 - dent.exe
 - FlushVDrive.exe
 - GetVDriveInfo.exe
 - MakeZip.exe
 - ProcessHandle.exe
 - UsbVerify.exe
 - UWPAppCheck.exe
 - ZenmuFolderChange.exe
 - ZenmuPC.exe
 - ZenmuPC_Cmd.exe

- ZenmuPCService.exe
 - ZenmuPCStart.exe
 - ZenmuPCStop.exe
 - AppShutdownDll.dll
 - BleApi.dll
 - imo.dll
 - KeyVerify.dll
- ZPC の分散ファイル用のフォルダー
 - ・ フォルダー
 - C:¥Users¥(UserName)¥Appdata¥Local¥ZenmuTech¥ZenmuPC
- ※設定 XML ファイル (ZenmuPC_Config.xml) で分散ファイル 1 の保存先を変更した場合は、変更したフォルダーを指定してください。s
- ZPC の DB、Config ファイル、ログの保存先
 - ・ フォルダー
 - C:¥ZenmuTech¥ZenmuPC
- ZPC のシステムファイル
 - ・ ファイル
 - C:¥Windows¥System32¥drivers¥ZenmuDisk.sys

1.4.2. 資産管理ソフト・セキュリティソフトの更新許可のフォルダー

- ZPC の分散ファイル用のフォルダー
 - ・ フォルダー
 - C:¥Users¥(UserName)¥Appdata¥Local¥ZenmuTech¥ZenmuPC
- ※設定 XML ファイル (ZenmuPC_Config.xml) で分散ファイル 1 の保存先を変更した場合は、変更したフォルダーを指定してください。
- ZPC の DB、Config ファイル、ログの保存先
 - ・ フォルダー
 - C:¥ZenmuTech¥ZenmuPC

1.4.3. 資産管理ソフト・セキュリティソフトの更新許可のレジストリ

※ 近年、セキュリティソフトでも、レジストリの変更を許可しない場合があります。レジストリの許可設定が必要か確認し、必要な場合は設定を行ってください。

- ・ レジストリ
 - HKEY_CURRENT_USER¥Software¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥Policies¥Explorer
 - HKEY_CURRENT_USER¥Software¥Microsoft¥Windows NT¥CurrentVersion¥Winlogon
 - HKEY_CURRENT_USER¥Software¥ZenmuTech¥ZenmuPC¥Toolbar

- HKEY_CURRENT_USER¥Software¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥Explorer¥User Shell Folders

1.4.4. Windows のスリープの設定と、高速スタートアップの設定の解除について

PC の設定によって Windows が長時間スリープした後に Windows およびハードディスクが休止状態になり、しばらく画面が点灯しない、PC が動作しない場合があります。その際、PC のご利用者は電源ボタンを押す等し、誤って Windows をシャットダウンしてしまう場合があります。（しばらく待てば Windows およびハードディスクが休止状態から使用可能な状態に戻りますが、待たずに電源ボタンを押されることがあります。）

または、Windows の高速スタートアップ機能の弊害と思われる状態で、長時間スリープ後に再起動する場合があります。

その場合、仮想ドライブのデータを保存することなくシャットダウン／再起動されてしまうため、ロールバックが発生する、または仮想ドライブが利用不可となり、仮想ドライブの再作成が必要となる場合があります。

- ・ ロールバックについての詳細は、別マニュアル「2_ZENMU_for_PC_Ver5.4_マニュアル_運用編」 - 「3.4.1 ロールバックデータの保存」をご参照ください。
- ・ ロールバックのメッセージが表示されない場合でも、手動によりロールバックが可能な場合があります。本問題により仮想ドライブがマウントできない場合は、ZenmuTech サポート（zenmu-support@zenmotech.com）までメールにてお問合せください。

上記の問題を防ぐため、必要に応じて Windows のスリープの設定と、高速スタートアップ機能の設定解除をお願い致します。

■ Windows のスリープの設定変更方法について

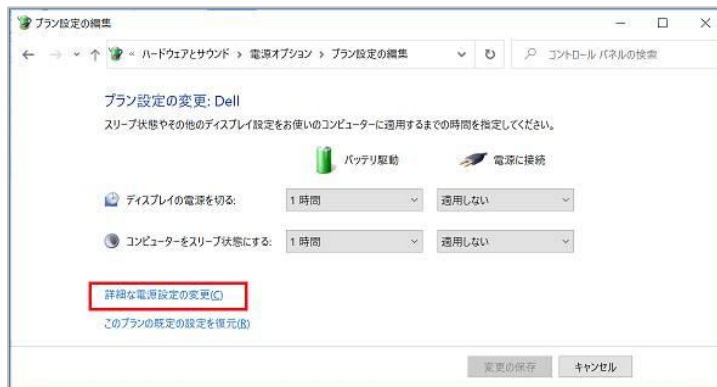
1. 以下の手順で「電源オプション」を表示します。

■ Windows10

Windows アイコンをクリック後、「Windows システムツール」 - 「コントロール パネル」 - 「ハードウェアとサウンド」 - 「電源オプション」 - 「プラン設定の編集」の「詳細な電源設定の変更」をクリックします。

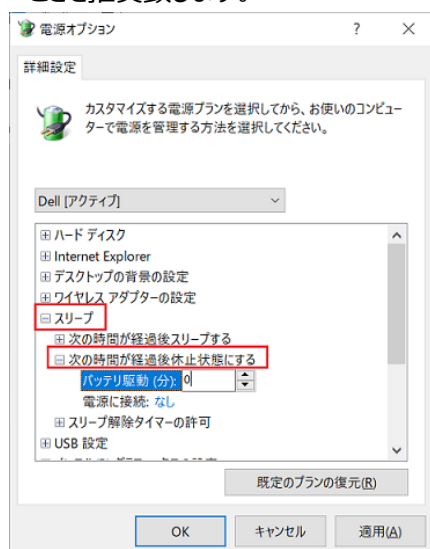
■ Windows11

Windows アイコンをクリック後、「すべてのアプリ」 - 「Windows ツール」 - 「コントロール パネル」 - 「ハードウェアとサウンド」 - 「電源オプション」 - 「プラン設定の変更」 - 「詳細な電源設定の変更」をクリックします



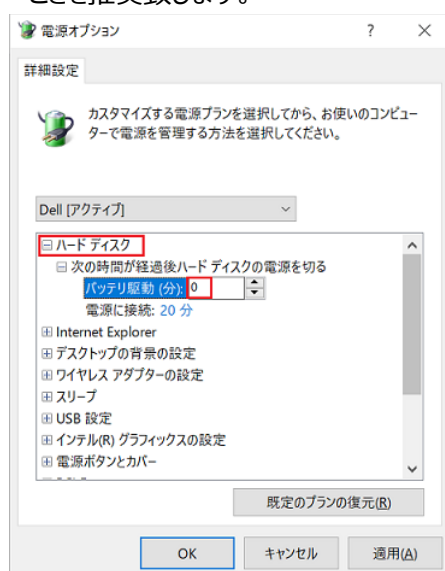
2. 「電源オプション」 - 「スリープ」 - 「次の時間が経過後休止状態にする」を変更します。

- ・ 値を 0 にすると設定なしになります。会社のセキュリティポリシー上、設定をなしにできない場合は設定値を大きくすることを推奨致します。



3. 「電源オプション」 - 「ハードディスク」 - 「次の時間が経過後ハードディスクの電源を切る」を変更します。

- ・ 値を 0 にすると設定なしになります。会社のセキュリティポリシー上、設定をなしにできない場合は設定値を大きくすることを推奨致します。



4. 「OK」をクリックし、変更を確定します。

■ Windows の高速スタートアップ設定解除方法について

1. 以下の方法で、「高速スタートアップを有効にする」設定を変更します。

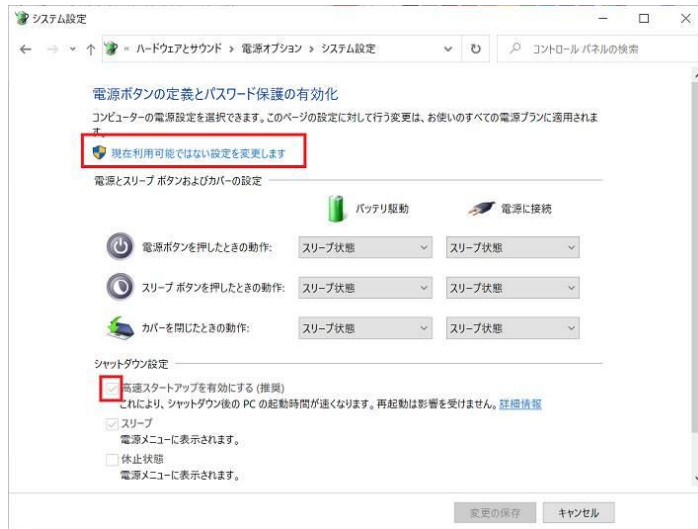
■ Windows10

Windows アイコンをクリック後、「Windows システムツール」 - 「コントロール パネル」 - 「ハードウェアとサウンド」 - 「電源オプション」 - 「システム設定」の「現在利用可能でない設定を変更します」をクリックします。
「高速スタートアップを有効にする」のチェックを外すことが可能になります。

■ Windows11

Windows アイコンをクリック後、「すべてのアプリ」 - 「Windows ツール」 - 「コントロール パネル」 - 「ハードウェアとサウンド」 - 「電源オプション」 - 「電源ボタンの動作を選択する」
「高速スタートアップを有効にする」のチェックを外すことが可能になります。

2. 「高速スタートアップを有効にする」のチェックを外します。



3. 「設定の保存」をクリックし、設定を変更します。

1.4.5. POP 版 Microsoft Outlook をご使用中の場合の注意

POP 版の Outlook は、Outlook のデータファイル PST ファイルのフォルダーが「ドキュメント」に配置されている場合が多いです。「ドキュメント」フォルダーは、ZPC のデフォルトの設定で仮想ドライブに移動されます。Outlook は元の C ドライブに PST ファイルがないため、起動に失敗します。

仮想ドライブ作成前に「コントロール パネル」 - 「Mail (Outlook)」より Outlook のデータフォルダーの場所を変更してください。仮想ドライブ作成後に PST の場所を仮想ドライブに再度変更することをご推奨します。

Junction の設定をし、PST ファイルの場所を仮想ドライブに移動することも可能ですが、POP 版の Outlook はメールを PC に保存するため、保存しているメール数が多く、PST ファイルが大きい場合は、Junction を利用するとメールが検索できなくなるなど問題が発生することがありご推奨できません。仮想ドライブ作成後、プロファイルの場所を仮想ドライブに指定してご使用ください。

1.5. ZENMU for PC (ZPC) の用語説明

各用語に対して、以下の説明をご参照ください。

- ZPC

- ・ ZENMU モード

仮想ドライブ利用時のみ PC を利用できるモード。ZENMU モードで PC にサインインすると ZENMU モードスタート画面のみ表示される。外部ストレージが接続され、仮想ドライブがマウントできた時のみ仮想ドライブが使用可能になり、Windows の通常のデスクトップを使用することが可能。

- ・ 非 ZENMU モード（ZENMU モード以外）
仮想ドライブのみを作成。通常に Windows にユーザーでサインインし、外部ストレージを接続し仮想ドライブをマウント後、エクスプローラーで C ドライブ等通常のハードディスクと同じ様に読み書きが可能。
 - ・ ZENMU モードスタート画面
ZENMU モードで PC にサインインした際に表示される画面。「START」、「Windows の終了」を選択可能。
 - ・ ZENMU ツールバー
ZENMU モードでマウント後、画面左上に表示される黒いツールバー。
- 外部ストレージ
 - ・ 外部ストレージ
プライマリーストレージ、バックアップストレージの総称です。
 - ・ プライマリーストレージ
ZPC を利用する際のメインの外部ストレージ。仮想ドライブ作成時、ZPC に接続済の USB メモリー、iPhone USB、iPhone Bluetooth LE(BLE)、Android Bluetooth、Windows 共有フォルダーの中から選択可能。仮想ドライブ作成後の変更も可能。
 - ・ バックアップストレージ
ZPC を利用する際の予備の外部ストレージ。仮想ドライブ作成時、ZPC に接続済の USB メモリー、iPhone USB、iPhone Bluetooth LE(BLE)、Android Bluetooth、Windows 共有フォルダーの中から選択可能。仮想ドライブ作成後の変更も可能。
- ZPC の状態
 - ・ マウント（する）
Windows にサインイン直後、ZENMU モードスタート画面で「START」をクリックすること。
 - ・ マウント状態
Windows のデスクトップが表示され、仮想ドライブが利用可能な状態。
 - ・ アンマウント（する）
マウントした状態で、ZENMU ツールバーより「ログオフ」等をクリックすること。（仮想ドライブがアンマウントした後に、Windows の「サインアウト」等が実行されます）
 - ・ アンマウント状態
ZENMU モードスタート画面の状態。（「START」「Windows の終了」が表示された状態）
- ZPC のデータ
 - ・ 分散ファイル 1
PC 側に作成される、仮想ドライブの秘密分散保存ファイルです。アンマウント時に作成されます。仮想ドライブとほぼ同等のサイズのファイルです。

- ・ 分散ファイル 2
プライマリーストレージ／バックアップストレージに作成される、仮想ドライブの秘密分散保存ファイルです。アンマウント時に作成されます。仮想ドライブのサイズに関わらず、ファイルサイズは 1KB です。
- ・ ロールバックデータ
仮想ドライブがマウントしてからの差分のデータです。PC と外部ストレージ双方に秘密分散して保存します。
仮想ドライブのアンマウント時に外部ストレージを接続しないで強制的に先同した場合等の理由により、分散ファイル 2 が保存されなかった場合等に、再度にロールバックデータの保存した時点までロールバック可能です。

詳細は別マニュアル「**2_ZENMU_for_PC_Ver5.4_マニュアル_運用編**」 - 「**3.4.1. ロールバックデータの保存**」をご参照ください。

- ・ 設定 XML ファイル
XML 形式で記述する、ZPC の設定ファイルです。
「C:¥ZenmuTech¥ZenmuPC¥ZenmuPC _Config.xml」
仮想ドライブの初期値の設定、マウント時・アンマウント時・ZENMU モードスタート画面で表示するアプリケーションの指定、仮想ドライブに移動するフォルダーの設定等が可能です。

詳細は、最新版の設定 XML ファイルのマニュアル「ZENMU_for_PC_Ver5.x.x_XML ファイルによるカスタマイズ」の以下の章をご参照ください。以下よりダウンロード可能です。

<https://zenmutech.com/resource/onmanual-system>

- ・ ZPC のログファイル
ZPC の動作が記録されているファイルです。「C:¥ZenmuTech¥ZenmuPC¥log フォルダ配下」
問題発生時等 ZenmuTech サポート（zenmu-support@zenmutech.com）より依頼させて頂いた時にお送り頂くことがあります。
なお、ZPC のログファイルはトラブル発生時等に ZenmuTech が確認することを目的に出力しています。そのため、ログについてご説明するドキュメント等はございません。ご了承ください。

2. インストール

本章では ZPC のインストール方法を説明します。

2.1. インストール時の注意事項

本アプリケーションは Windows ドライバーを利用して仮想ドライブを作成して、仮想ドライブを利用可能としています。セキュリティ・資産管理ツールアプリケーション等と組み合わせてご利用の場合は、事前に仮想ドライブへの書き込み許可が必要です。

※コマンドを利用したサイレントインストール等を行いたい場合は、「[4. その他のインストール・アンインストール方法（コマンド・MSI セットアップ）](#)」をご参照ください。

※注意

インストール時には以下の点にご注意ください。

- ドライブへの書き込みを禁止する機能があるソフトウェアは、**停止**もしくは本アプリケーションの**除外設定**をした後、インストールを行ってください。
- ZPC のフォルダー（C:¥Program Files¥ZenmuTech¥ZenmuPC）を除外設定してください。
- ZPC のインストールには**管理者権限が必要**です。必ず管理者権限のあるアカウントでインストールを行ってください。

2.2. インストール方法（新規）

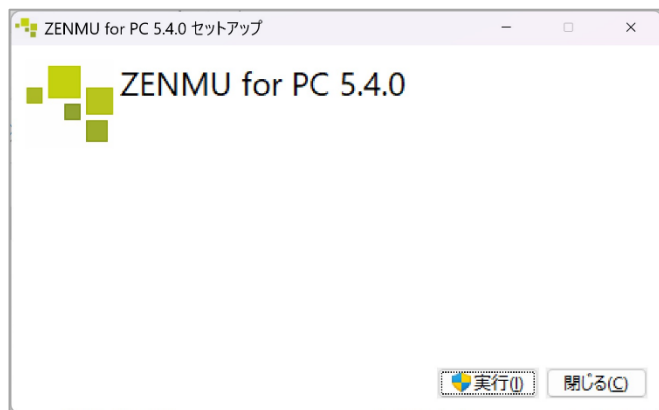
1. インストール方法

- (1) ZPC の Setup_5.4.x.exe をダブルクリック

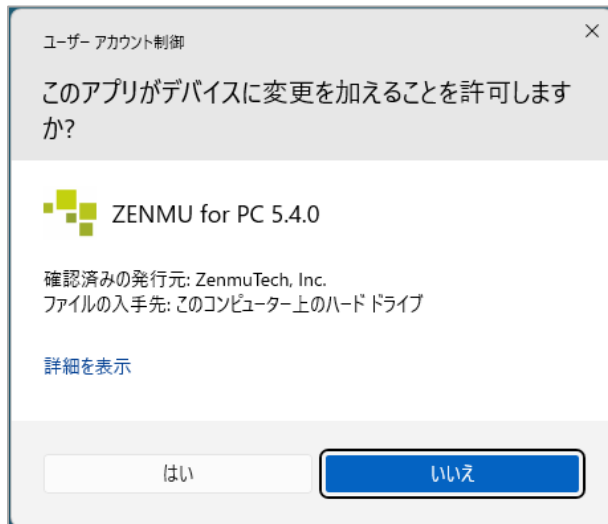
セットアップウィザードが起動します。

名前	更新日時	種類
x64	2023/09/26 10:15	ファイル フォルダー
x86	2023/09/26 10:15	ファイル フォルダー
Setup_5.3.0.exe	2023/09/26 10:15	アプリケーション

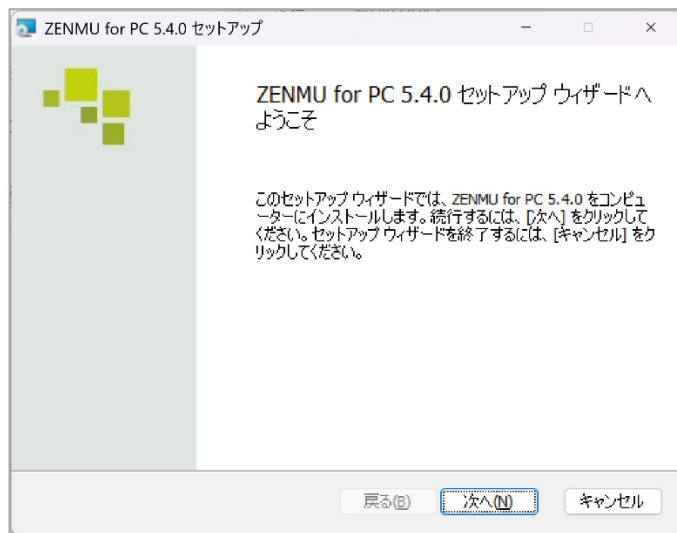
- (2) 「実行」をクリック



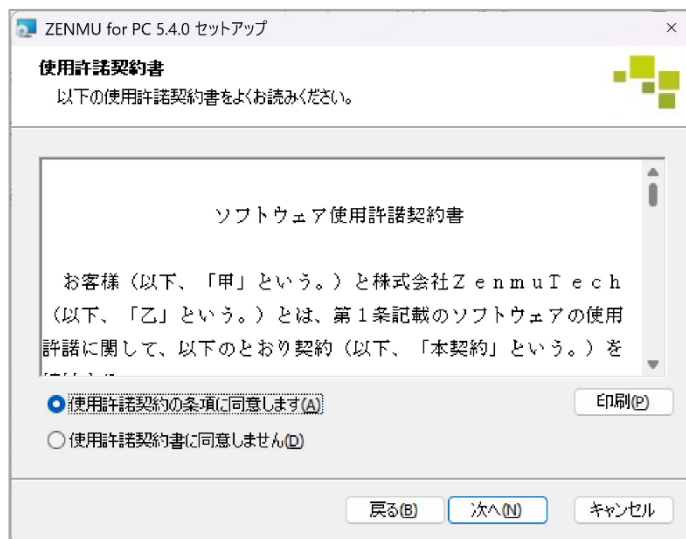
- (3) 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されますので「はい」をクリック
インストールが開始されます。



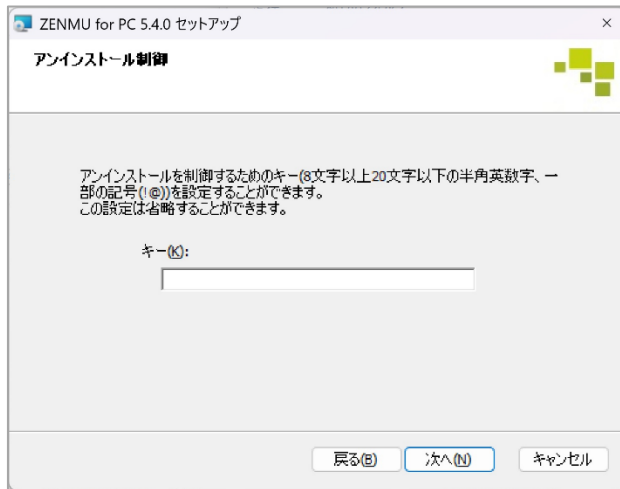
- (4) 「ZENMU for PC 5.4.x セットアップウィザードへようこそ」画面で「次へ」をクリック



- (5) 「使用許諾契約書」画面で「使用許諾契約の条項に同意します(A)」を選び、「次へ」をクリック



- (6) 「アンインストール制御」画面で任意でキーを入力して「次へ」をクリック
インストールが開始されます。



「アンインストール制御キー」(制御キー)とは

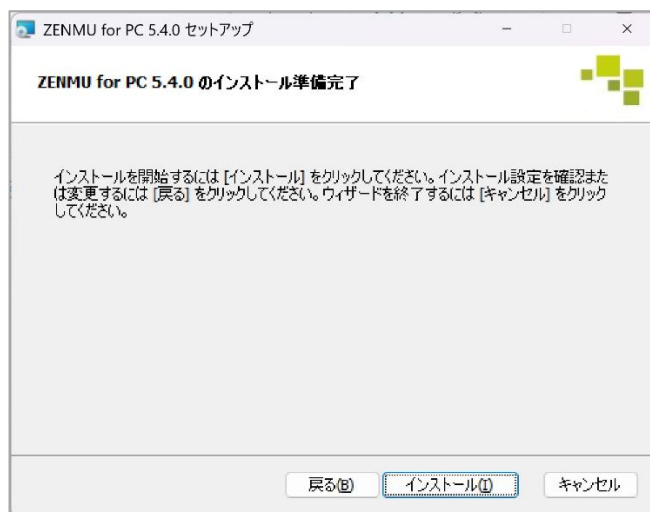
- 制御キーは、仮想ドライブ利用者等が、システム管理者の許可なく容易にアンインストールすることを防ぐことを目的としています。制御キーを設定した場合、アンインストール時に制御キーの入力が必要となります。
- 制御キーを忘れた場合はアンインストール不可能となりますので、ご注意ください。

※注意

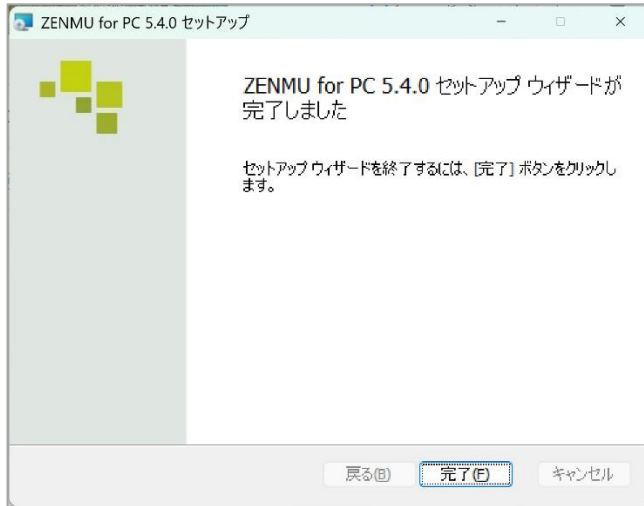
設定したアンインストール制御キーは ZenmuTech でも調査することができません。忘れない様にご注意ください。不明でアンインストールできない場合は、リセットツールをご提供します。

- 制御キーの設定が不要な場合は、空欄のまま「次へ」をクリックしてください。この場合は、アンインストール時に制御キーの入力は不要です。
- アンインストール制御キーは半角英数字、一部の記号(!, @)を設定することができます。8 文字以上 20 文字以下を指定します。(大文字小文字は区別されます)
- 許可されていない記号を入力すると、エラー画面が表示されます。

- (7) 「ZENMU for PC 5.4.x のインストール準備完了」画面で「インストール」をクリック



(8) 「セットアップウィザードが完了しました」画面で「完了」をクリック



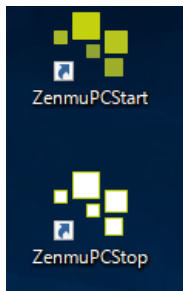
(9) 「インストールが完了しました」画面で「再起動」をクリック

PC が再起動されます。



2. インストール後の確認

再起動後、デスクトップに ZPC のアイコン（ZenmuPCStart、ZenmuPCStop）が作成されています。



2.3. インストール方法（ZPC ver5.x からのアップグレード）

ZPC v5.0.0 以降をご利用中の場合はアップグレードインストールが可能です。仮想ドライブを作成したままで、ZPC のアップグレードが可能です。

ZPC の最新版には、新機能および以前のバージョンの不具合の修正が含まれています。最新版をご利用頂くことを強くご推奨します。

仮想ドライブを作成したままで、ZPC のアップグレードが可能です。ただし、「■ アップグレードインストールの注意事項」に記述した方法でのアップグレードインストールをお願い致します。

■ アップグレードインストールの注意事項

- ZENMU モードで ZPC を運用中にアップグレードを実行する場合は、別の Windows ユーザーで PC にログインしてインストールを行う必要があります。
- 別の Windows ユーザーで PC にログインができない場合は、ZENMU ツールバー -「その他」-「仮想ドライブのアンマウント」より仮想ドライブのアンマウントを行った後、ZPC をインストールしてください。
- GPO や資産管理ソフト等で配布し、アップグレードインストールすることも可能です。ただし、仮想ドライブをマウントしている状態で配布を適用すると、再起動時に秘密分散保存ができず、次回仮想ドライブのマウントに失敗する場合があります。また、仮想ドライブ使用中に ZPC の exe や dll が置き換わると再起動まで正常に動作しなくなる可能性があります。かならず、アンマウントした状態で配布し適用を行ってください。
- ZPC をインストールした時に Setup_5.x.x.exe でインストールした場合は、必ず Setup_5.x.x.exe を使用してアップグレードインストールをしてください。

ZENMUforPC_5.x.x_x64.msi /x86.msi でインストールした場合は、必ず ZENMUforPC_5.x.x_x64.msi /x86.msi を使用してアップグレードインストールをしてください。

異なるインストーラーを使用すると、アップグレードインストール時にエラーになります。

※注意

- 仮想ドライブをマウントした状態でアップグレードのインストール等を行うと、インストーラーが自動的に PC を再起動した場合等、仮想ドライブのデータを保存できず仮想ドライブが壊れるまたはロールバックする可能性があります。そのため**アップグレードインストール時は必ず仮想ドライブのアンマウントを行ってください。**
- ZPC のインストール／アップグレードインストールは、ZPC の必要なファイルを管理者権限が必要な場所（C:\Program Files 配下等）にコピー等を行うために、**管理者権限が必要です**。必ず管理者権限のあるアカウントでインストールを行ってください。Windows の管理者権限がないユーザーが実行した場合は、管理者のユーザー名とパスワードの入力が必要です。

■ 別のユーザーでログインし、インストール（アップグレード）する方法

1. ZPC 利用ユーザー以外のユーザーで Windows にログインします。
2. Setup_5.x.x.exe をダブルクリックし、インストールを実行してください。詳細は、「[2.2. インストール方法（新規）](#)」をご参照ください。

※注意

ZPC のインストール／アップグレードインストールは、ZPC の必要なファイルを管理者権限が必要な場所（C:\Program Files 配下等）にコピー等を行うために、管理者権限が必要です。Windows の管理者権限がないユーザーが実行した場合は、管理者のユーザー名とパスワードの入力が必要です。

■ ZENMU モードを保った状態で、インストール（アップグレード）する方法

「[1.2. 仮想ドライブ未作成ユーザーに仮想ドライブ作成ウィザードを表示する機能を on にするインストール方法](#)」および、インストールで「アンインストール制御キー」を指定することはアップグレードインストールではできません。インストール用 XML ファイルを使用して指定しても、設定は有効になりません。元のバージョンの ZPC の設定に準じます。

※ 注意

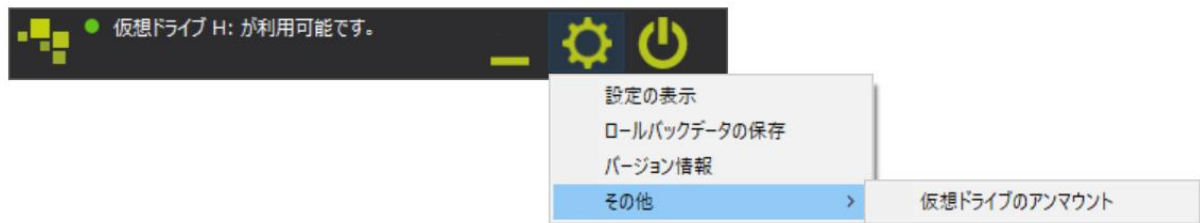
- ・ アップグレードインストールの場合は、仮想ドライブの削除・前バージョンのアンインストールは不要です。
- ・ アップグレードインストールでは、仮想ドライブ作成ウィザードを表示する機能を onにする、およびアンインストール制御キーの指定は**できません**。
- ・ 以前のバージョンを Setup_x.x.x.exe でインストールした場合、アップグレードインストールは Setup_EE_x.x.x.exe で、ZENMUforPC_x.x.x_x64.msi でインストールした場合、アップグレードインストールは ZENMUforPC_x.x.x_x64.msi で行う必要があります。Setup_x.x.x.exe と ZENMUforPC_x.x.x_x64.msi を混在させてインストールは**できません**。インストールが成功しても ZPC の動作を保証できません。ご注意ください。

1. 現在開いているファイルを保存して、ファイルを閉じます。

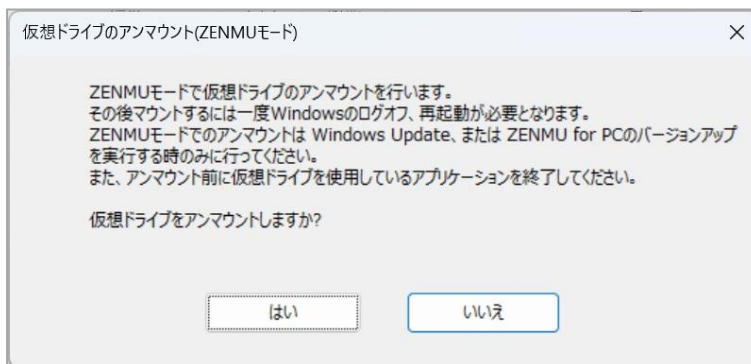
※注意

次の手順で「仮想ドライブのアンマウント」を行うと、仮想ドライブが使用できなくなるため、開いているファイルは保存できません。

2. ZENMU ツールバーの中央ボタンをクリックし、「その他」-「仮想ドライブのアンマウント」を選択します。



3. 「はい」をクリックすると仮想ドライブをアンマウント（終了）します。



4. 仮想ドライブのアンマウントが完了すると、ZENMU ツールバーの状態がアンマウント状態になり、メッセージが表示されます。

(1) ZENMU ツールバー

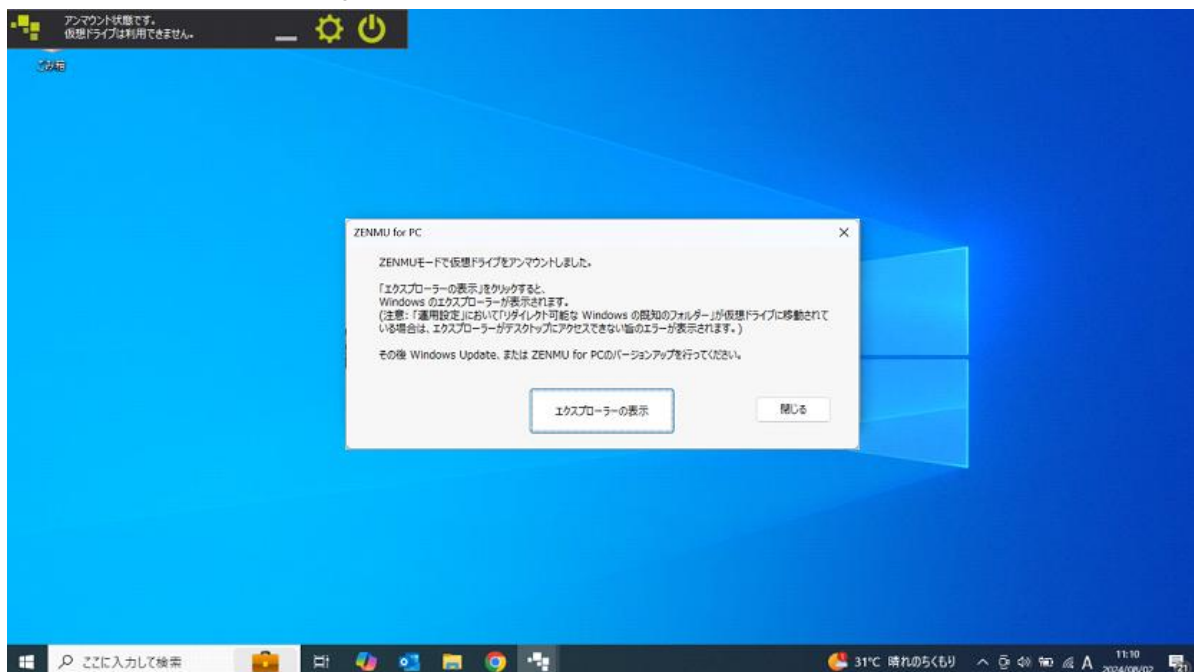
アンマウント状態を表示します。



(2) デスクトップ

Windows の既知のフォルダーを仮想ドライブに移動している場合は、仮想ドライブがアンマウントされた状態でデスクトップのフォルダー・ファイルはアクセスできないため、ごみ箱だけが表示されます。

※ ZPC v5.4.0 以上ではデスクトップ・Windows メニューは終了されません。(ZPC v5.3.2 以下は黒い画面が表示されていました。)

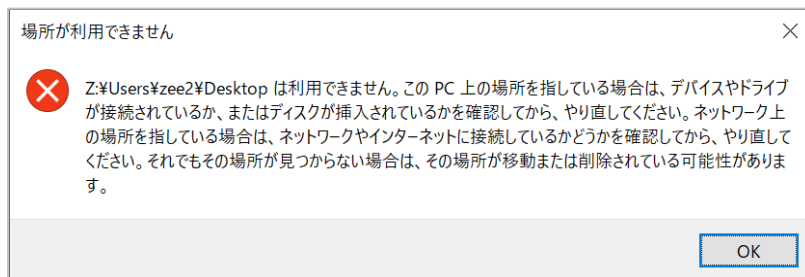


(3) メッセージ

「アンマウントしました」とメッセージが表示されます。「エクスプローラーの表示」をクリックすると、エクスプローラーが表示されます。(Windows のメニューから「エクスプローラー」を表示することも可能です。)



- なお、エクスプローラーを表示すると、「場所が利用できません」とメッセージが表示されるので、「OK」をクリックしてメッセージを閉じます。



※ 仮想ドライブがアンマウント（終了）されているため、仮想ドライブ上にあるデスクトップの場所が使用できないことにより、本メッセージが必ず表示されます。問題はありません。

5. ネットワークドライブ、社内ファイルサーバー等、アクセス可能な場所に新しいバージョンの ZPC のインストーラーを配置し、インストールを実行してください。
6. インストールが完了すると、PC の再起動が促されます。再起動後、再度 Windows にサインインし、ZENMU モードスタート画面から「START」をクリックすると、引き続き同じ環境で仮想ドライブを利用可能です。

■ ZPC のインストーラーを仮想ドライブに配置した状態でのアップグレードインストール

大変申し訳ございませんが、インストールできません。

ZPC の設定 - 「アンマウント」 - 「アンマウント後に Windows の一時ファイルを削除する」をチェックしている場合はインストールが失敗します。また、アップグレードインストールは内部的に仮想ドライブをアンマウントして以前のバージョンをアンインストールし、新しいバージョンをインストールします。そのため、以下の様な問題が発生する可能性があります。

- ・ 何らかの理由でアンマウントに失敗する。
- ・ 新しいバージョンをインストール後、何らかの理由で ZPC のサービスが起動できなくなり、サインアウトができなくなるなど問題が発生する。

インストーラーを配置する場所が仮想ドライブのみの場合は、cmd.exe より C ドライブにインストーラーを配置して、コマンドよりインストールすることが可能です。

1. C ドライブに任意のフォルダーを作成します。（本例では「C:\ZPC_Install」）

```
mkdir C:\ZPC_Install
```

2. 仮想ドライブに配置した ZPC のインストーラーを作成した C ドライブのフォルダーにコピーします。（以下の例は仮想ドライブのドライブ文字が Z であり、Z の直下にインストーラーを配置した場合）

```
copy /Y Z:\Setup_x.x.x.exe C:\ZPC_Install
```

3. ZENMU ツールバーの「その他」 - 「仮想ドライブのアンマウント」より、仮想ドライブをアンマウントします。

4. Setup_x.x.x.exe を配置したフォルダーでインストールのコマンドを実行します。

```
"C:\ZPC_Install\ Setup_x.x.x" /install /quiet
```

※ /quiet はサイレントインストールを行う場合です。インストールウィザードを表示する場合は指定しません。

上記でご説明した cmd.exe でのインストールが難しい場合は、ZenmuTech サポート（zenmu-support@zenmutech.com）までメールでお問合せをお願い致します。

■ msi ファイルを利用したアップグレードインストールの注意事項

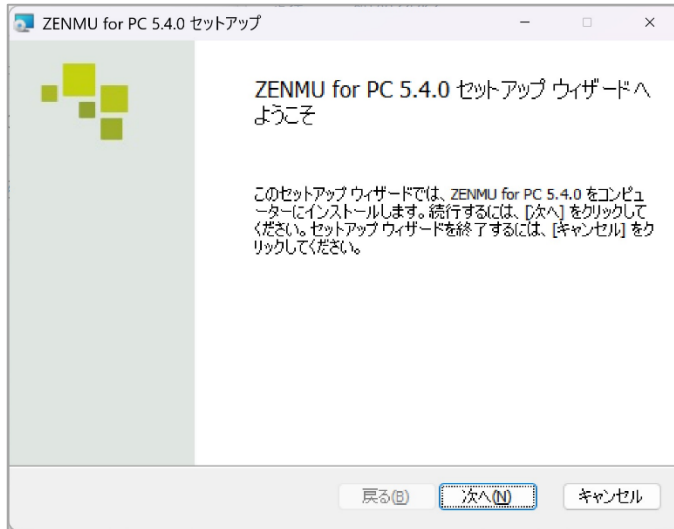
msi は通常 GPO や資産管理ソフトなどを使用して、配布 msi ファイルで配布してインストールする場合に使用します。ただし、配布前にシステム管理者が ZPC の新機能等を確認するために、配布をせずインストールする場合はウィザードを起動する場合も管理者のコマンドプロンプトから起動をお願い致します。

ZENMU ツールバー中央ボタン - 「その他」 - 「仮想ドライブのアンマウント」を選択して仮想ドライブをアンマウントした状態（上記「■ ZENMU モードを保った状態で、インストール（アップグレード）する方法」を参照）もしくは別のユーザーで以下の方法で msi ファイルを実行し、アップグレードインストールを行ってください。

1. 現 Windows メニューの「Windows システムツール」-「コマンドプロンプト」を右クリックし、「その他」-「管理者として実行」をクリックし、**管理者のコマンドプロンプト**を起動します。
2. ZENMUforPC_x.x.x_x64.msi を配置したフォルダーで以下のコマンドを実行します。

```
msiexec /i "C:\(任意のフォルダー)\ZENMUforPC_x.x.x_x64.msi"
```

3. ZPC のインストール画面が表示されるため、「次へ」をクリックし、インストールを進めます。



※以下のコマンドを実行することで、インストール画面を表示しないサイレントインストールの実行も可能です。

```
msiexec /i "C:\(任意のフォルダー)\ZENMUforPC_x.x.x_x64.msi" /qn
```

※注意

ZPC のインストールは、ZPC の必要なファイルを管理者権限が必要な場所（C:\¥Program Files 配下等）にコピー等するため、管理者権限が必要です。そのため cmd.exe を「管理者として実行」で起動する必要があります。

msi ファイルを直接クリックしてアップグレードインストールの実行を試みた場合は、**管理者のユーザー名とパスワードの入力を行う画面が表示されず、アップグレードインストールに失敗します。**

msi ファイルを利用し、インストール画面を表示してアップグレードインストールを行う場合は、必ず**管理者のコマンドプロンプト**を起動し、**コマンドプロンプトの実行によりインストール画面を表示する必要があります。**

2.4. インストール方法（旧製品および ZENMU for PC ver3.x・4.x からのアップグレード）

ZPC ver5.x とPASERI for PC（旧製品）および ZPC ver3.x・4.xは**互換性がありません**。そのため、PASERI for PC（旧製品）および ZPC ver3.x・4.xから、ZPC ver5.xへの**アップグレードインストールはできません**。

同じPCを利用して、ZPC ver5.xを使用する場合は、以下の手順で行ってください。

- (1) PASERI for PC または ZPC ver3.x・4.x の仮想ドライブ配下のファイルを、必要に応じてネットワークドライブ等に回避します。

※デスクトップ、ドキュメント等の Windows の既知のフォルダー以外のファイルは仮想ドライブ削除時に削除されます。

(2) PASERI for PC または ZPC ver3.x・4.x の仮想ドライブを削除します。

(3) PASERI for PC または ZPC ver3.x・4.x をアンインストールします。

(4) ZPC ver5.x をインストールします。

(5) ZPC ver5.x で仮想ドライブを作成します。

(6) 必要に応じて、(1)で退避したファイルを仮想ドライブへコピーします。



3. アンインストール

本章では ZPC のアンインストール方法を説明します。

1. アンインストール時の注意事項

※注意

ZPC のアンインストールを行っても**仮想ドライブは削除されません**。仮想ドライブの削除を行っていない場合は、**必ず先に仮想ドライブの削除を行ってください**。

仮想ドライブが削除されず残ったままの状態では ZPC がアンインストールされた場合は、ZENMU モードスタート画面の設定や、デスクトップ等の Windows の既知のフォルダーを仮想ドライブに移動する設定等が変更されない状態となります。そのため、環境によっては、次回 Windows サインイン時にデスクトップが正常に動作しなくなる場合があります。

2. アンインストール方法

仮想ドライブを削除していない場合は、

ZENMU モードの場合は「[3.1. ZENMU モードの仮想ドライブの削除](#)」を行ってください。

非 ZENMU モード（ZENMU モード以外）は「[3.2. 非 ZENMU モードの仮想ドライブの削除](#)」を行ってください。

既に仮想ドライブを削除済みの場合は「[3.3. Windows の設定メニューからのアンインストール](#)」または、「[4.3. setup.exe を使用したコマンドでのサイレントアンインストール方法](#)」または、「[4.5. MSI セットアップでのアンインストール](#)」を行ってください

3.1. ZENMU モードの仮想ドライブの削除

1. 仮想ドライブ削除時の注意事項

仮想ドライブ直下等 Windows の既知のフォルダー以外の仮想ドライブに保存したフォルダー、ファイルは仮想ドライブ削除時に削除されます。必要なフォルダー、ファイルは Windows の既知のフォルダーに移動するか、ネットワークドライブ等に退避してください。

※注意

注意：以下のフォルダーは仮想ドライブ削除時に元の場所に戻すことが可能です。

- **Windows の既知のフォルダー**
（「[2_ZENMU_for_PC_Ver5.4_マニュアル_運用編](#)」 - 「[2.3.1.「ZENMU モード」の新規設定](#)」 - 「[\(2\) リダイレクト（移動）可能な Windows の既知のフォルダー](#)」参照）
- 設定 XML ファイル（ZenmuPC_Config.xml）で **Junction** の指定をしたフォルダー
上記以外の仮想ドライブ上のファイルやフォルダーは、仮想ドライブ削除時に全て削除されます。

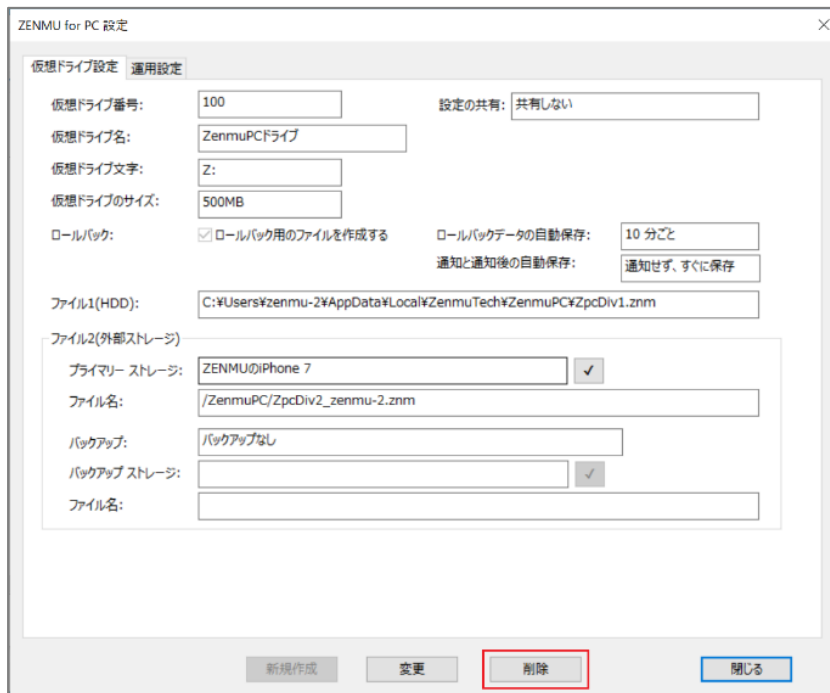
2. 仮想ドライブ削除方法

(1) 仮想ドライブのアンマウント

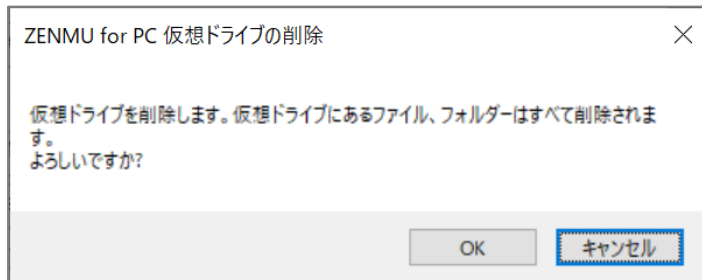
ZENMU ツールバーよりログオフ等を行い、仮想ドライブをアンマウントします。

(2) ZENMU モード START 画面で "Ctrl + Alt + Shift + X" を同時に押す
「ZENMU for PC 設定」画面が表示されます。

(3) 「ZENMU for PC 設定」画面下部の「削除」をクリック

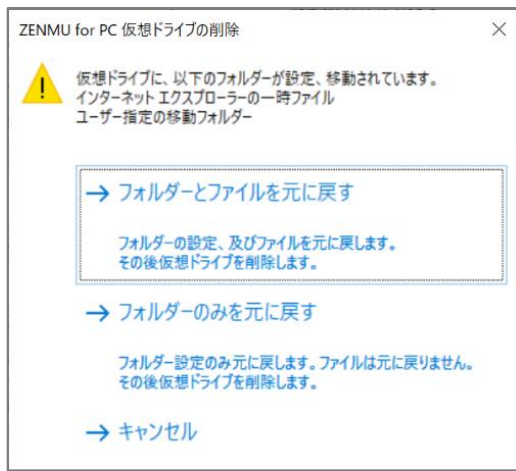


(4) 確認メッセージの「OK」をクリック



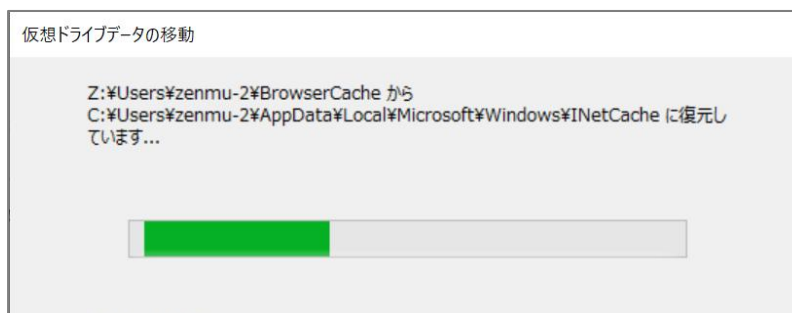
(5) 削除のオプションをクリック

- フォルダーとファイルを元に戻す
仮想ドライブに保存されているデスクトップ等、Windows の既知のフォルダー、および設定 XML ファイル (ZenmuPC_Config.xml) で Junction の指定をしたフォルダーのフォルダーとファイルを、元の場所 (C ドライブ) に戻します。それ以外の仮想ドライブに保存されたフォルダーとファイルは削除されます。
- フォルダーのみを元に戻す
デスクトップ等を元の場所の設定のみ元の場所 (C ドライブ) に戻します。
仮想ドライブに保存されているフォルダーとファイルは移動せず、全て削除されます。

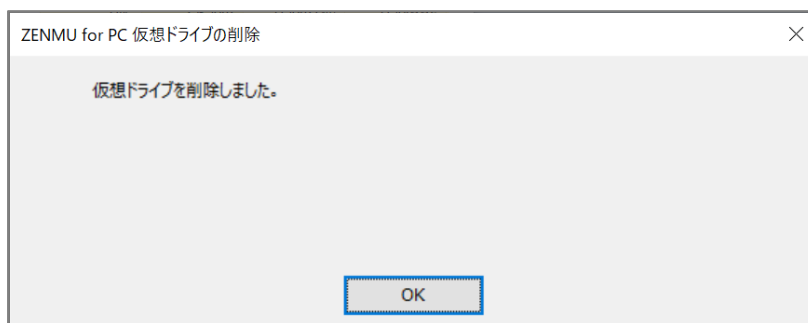


(6) 削除のインジケータ表示が終わるまで待つ

(7) データの復元（戻し）のインジケータが表示されます。データ量が多いと、データ復元に数分要することがあります。



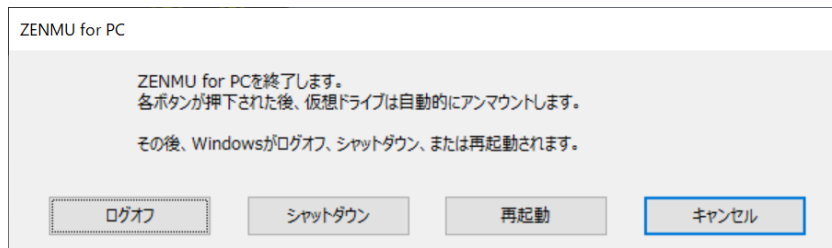
(8) 「仮想ドライブを削除しました」のメッセージ下の「OK」をクリック



(9) 「Windows の終了」をクリック

ZENMU モードスタート画面に戻ります。「Windows の終了」をクリックし、「ログオフ」、「シャットダウン」、「再起動」のいずれかの終了オプションを選択してください。
次回 Windows にサインイン時には ZENMU モード スタート画面が表示されず、仮想ドライブが削除されています。





3.2. 非 ZENMU モードの仮想ドライブの削除

1. 仮想ドライブ削除時の注意事項

仮想ドライブ直下保存したフォルダー、ファイルは仮想ドライブ削除時に削除されます。必要なフォルダー、ファイルはコンピューター内蔵のドライブやネットワークドライブ等に退避してください。

※注意

仮想ドライブ**直下**に保存した**フォルダー、ファイル**は仮想ドライブ削除時に**削除**されます。

2. 仮想ドライブ削除方法

(1) デスクトップの「ZenmuPCStop」アイコンをダブルクリック

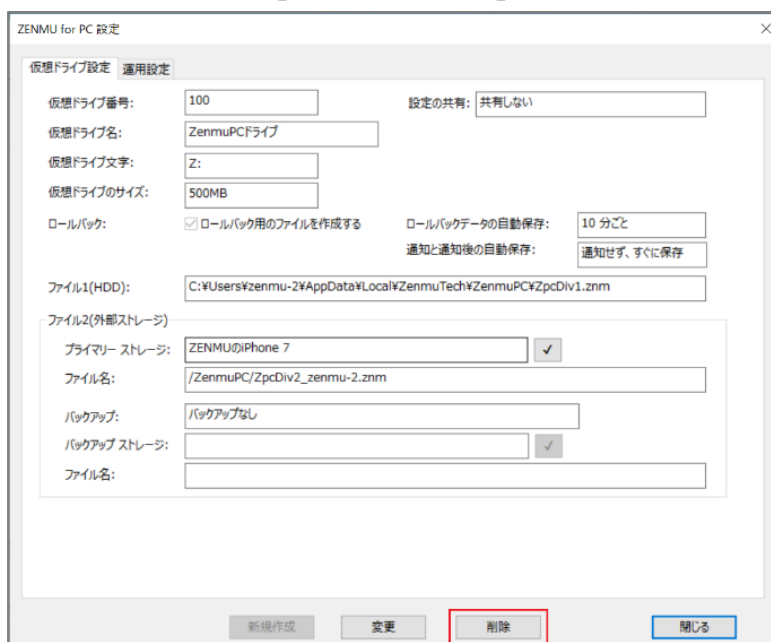
仮想ドライブがマウントされている場合はアンマウント（利用不可能な状態に）します。マウントされていない場合は、ZPC の起動のみを行い、仮想ドライブの削除が可能な様になります。

(2) タスクトレイのアイコンをクリックし、「設定」をクリック

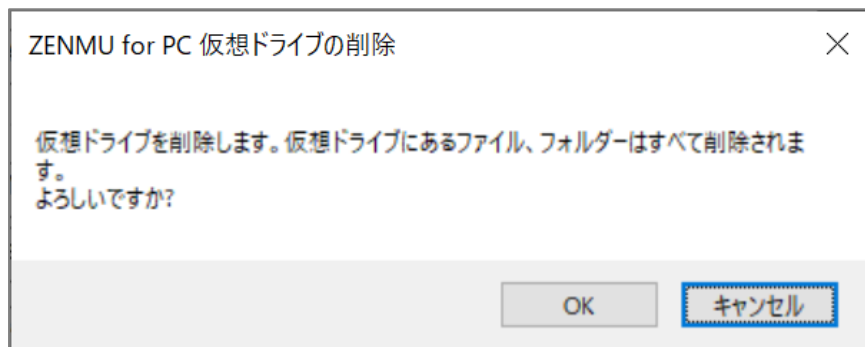
「ZENMU for PC 設定」画面が表示されます。



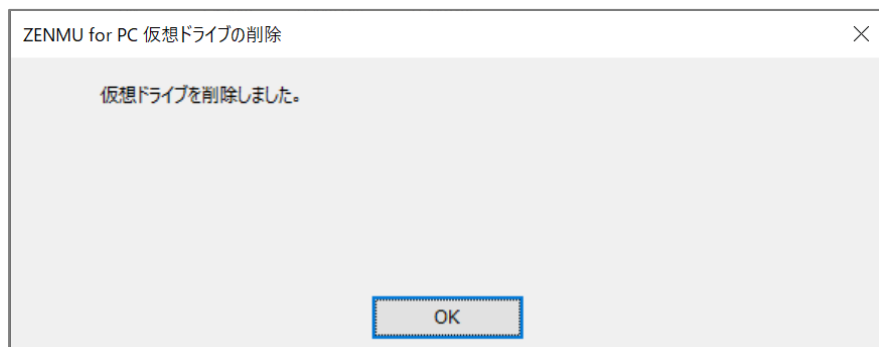
(3) 「ZENMU for PC 設定」画面下部の「削除」をクリック



(4) 確認メッセージの「OK」をクリック



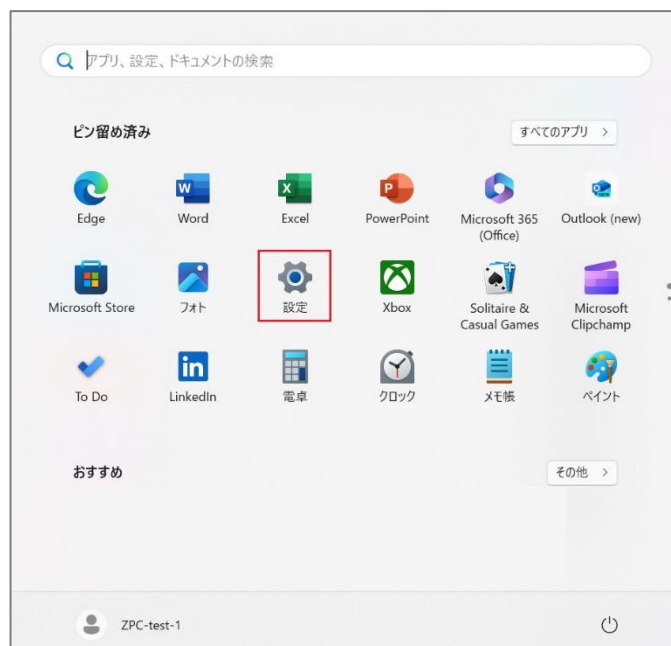
(5) 「仮想ドライブを削除しました」のメッセージ下の「OK」をクリック



3.3. Windows の設定メニューからのアンインストール

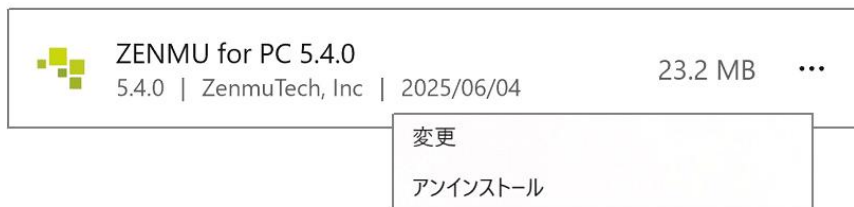
ZENMU モードの場合：ZPC のアンインストール方法は、Windows 設定メニューからのアンインストール、インストールモジュール（Setup_5.4.x.exe / ZENMUforPC_5.4.x_x64(x32).msi）から可能です。インストールモジュールを使用した場合は、コマンドよりサイレントアンインストール等が可能です。

(1) スタートボタン - 「設定」 - 「アプリ」 - 「インストールされているアプリ」を選択

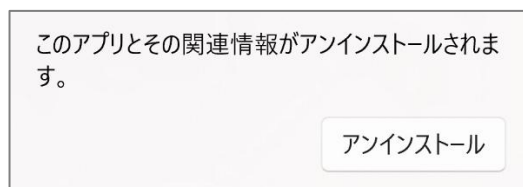




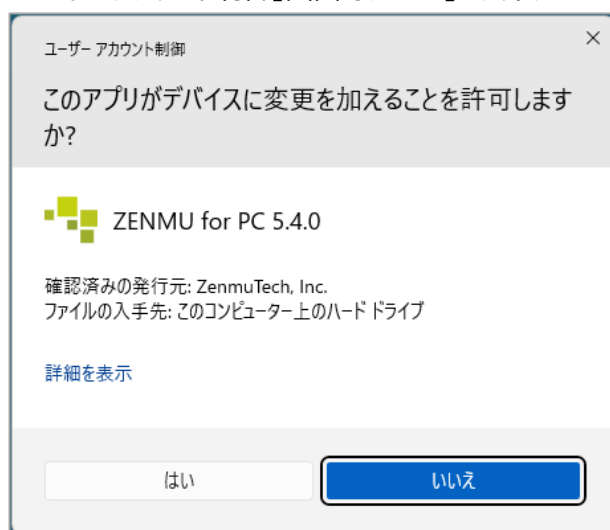
(2) 「ZENMU for PC」 - 「アンインストール」をクリック



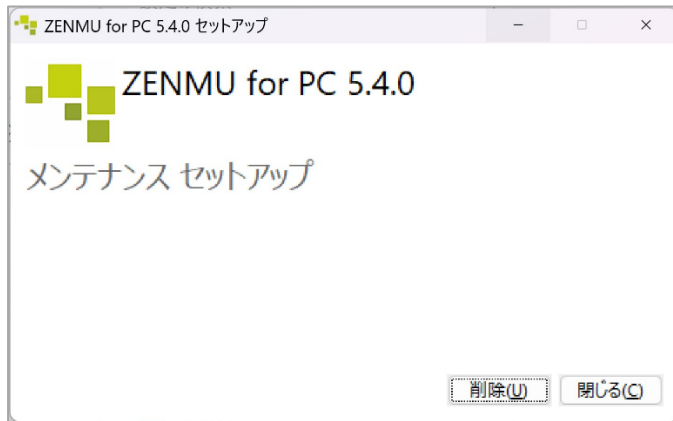
(3) 表示された確認画面で、再度「アンインストール」をクリック



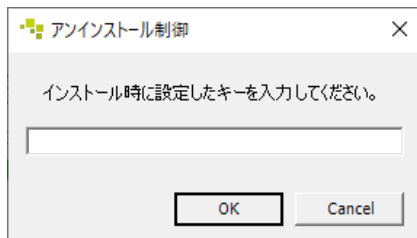
(4) 「ユーザーアカウント制御」画面で、「はい」をクリック



- (5) 「ZENMU for PC メンテナンス セットアップ」画面で、「削除」をクリック
アンインストール制御キーを設定していない場合はアンインストールが実行されます。



- (6) インストール時にアンインストール制御キー（任意設定項目）を設定した場合は「アンインストール制御」画面が表示されるので、設定した制御キーを入力し、「OK」をクリック
アンインストールが実行されます。



- 「Cancel」をクリックすると、アンインストールがキャンセルされます。
- 制御キーを忘れた場合はアンインストールができません。インストール時に設定した制御キーが不明となった場合は、システム管理者の方経由で ZenmuTech サポート (zenmu-support@zenmutech.com) までメールにてご相談ください。
- 制御キーは、仮想ドライブ利用者等が、システム管理者の許可なく容易にアンインストールすることを防ぐことを目的としています。制御キーを設定した場合、アンインストール時に制御キーの入力が必要となります。

- (7) アンインストール後は「再起動」をクリック
PC が再起動されます。



4. その他のインストール・アンインストール方法（コマンド・MSI セットアップ）

本章では 3 章で説明した方法以外の、ZPC のインストールおよびアンインストール方法を説明します。

4.1. 留意点

管理者権限での起動が必要となります。

コマンドプロンプト(cmd.exe)からインストール・アンインストールを実行する場合は、Windows メニューの「Windows システムツール」-「コマンドプロンプト」を右クリックし、「その他」-「管理者として実行」を選択してからコマンドプロンプトを起動してください。

4.2. setup.exe を使用したコマンドでのサイレントインストール方法

※注意

- ZPC のインストールには**管理者権限が必要**です。必ずコマンドプロンプトは「管理者として実行」をクリックし、管理者権限のある状態でインストールを行ってください。

1. コマンドでのインストール方法

setup.exe をローカル PC に保存します。コマンドプロンプトを「管理者として実行」で起動し、setup.exe を配置したフォルダーに移動します。そこで、以下のコマンドを実行します。

```
Setup_5.4.x.exe /quiet
```

2. setup.exe を使用し、設定ファイルを指定してインストールする方法

「CONFIGFILE」オプションを使用することで、デフォルトの設定ファイル（ZenmuPC_Config.xml）に代わり、別のファイルを指定してインストールをすることが可能です。以下のコマンドを実行します。

```
Setup_5.4.x.exe /quiet CONFIGFILE=C:¥ZenmuTech¥ZenmuPC¥Config_overwrite.xml
```

※「Config_overwrite.xml」：新しい設定ファイル名です。

3. setup.exe を使用し、アンインストール制御キーを設定したインストール用 XML ファイルを指定してインストールする方法

予めインストール用 XML ファイルを用意し、<UninstallKey>と</UninstallKey>の間にアンインストール制御キーを設定します。以下の例ではアンインストール制御キーを「abababab」と設定した場合です。

例) インストール用 XML ファイル

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<Installer>
  <UninstallKey>abababab</UninstallKey>
</Installer>
```

アンインストール制御キーはインストールウィザードで入力する場合と同じく、以下の制限があります。アンインストール制御キーについての詳細は、「[2.2. インストール方法（新規）](#)」(6)をご参照ください。

- アンインストール制御キーは半角英数字、一部の記号(!, @)を設定することができます。8 文字以上 20 文字以下を指定します。(大文字小文字は区別されます)

なお、アップグレードインストール場合は、アンインストール制御キーを上書きしません。インストール時に指定しても無効になります。最初に ZPC をインストールした時に設定したアンインストール制御キーが有効です。

以下のコマンドを実行します。

```
"C:\(任意のフォルダー)\Setup.exe" /install /quiet FILETOUSE="C:\(任意のフォルダー)\ZMConfig.xml"
```

- ※ 「/quiet」はサイレントインストールのオプションです。「FILETOUSE」をオプションは**サイレントインストール時のみ**指定可能です。そのため、「/quiet」は**必須**です。
- ※ 「FILETOUSE=C:¥(任意のフォルダー)¥ZMConfig.xml」はインストール用 XML ファイル(ZM_Config.xml)を指定する場合に使用します。必ずインストール用 XML ファイルを配置したフォルダーからフルパスで指定してください。
なお、インストール用 XML ファイルは、必ず C ドライブ等内蔵ディスクのローカルドライブに配置してください。
- ※ FILETOUSE オプションは**ローカルドライブのみ**指定可能です。ネットワークドライブを指定した場合は、インストール用 XML ファイルを読み込まずにインストールされます。

4.3. setup.exe を使用したコマンドでのサイレントアンインストール方法

setup.exe をローカル PC に保存します。コマンドプロンプトを「管理者として実行」で起動し、setup.exe を配置したフォルダーに移動します。そこで、以下のコマンドを実行します。

※注意

- ZPC のアンインストールには**管理者権限が必要**です。必ずコマンドプロンプトは「管理者として実行」をクリックし、管理者権限のある状態でインストールを行ってください。

```
Setup_5.4.x.exe /uninstall /quiet
```

4.4. MSI セットアップでのインストール

Active Directory を利用しており、ドメイン参加しているエンドユーザーへの ZENMU for PC へのインストール、及びソフトウェア管理は、インストールファイル内にある Windows MSI 形式のモジュール(ZENMUforPC_5.4.x_x64.msi もしくは ZENMUforPC_5.4.x_x86.msi)を使って実行可能です。

MSI セットアップは管理者権限での起動が必要となります。自動的に昇格はしません。そのため管理者権限以外のユーザーで起動した場合は、エラーとなります。64 ビット、32 ビットそれぞれ環境に応じた MSI をご利用ください。

4.5. MSI セットアップでのアンインストール

Active Directory を利用しており、ドメイン参加しているエンドユーザーへの ZENMU for PC へのアンインストールは、インストールファイル内にある Windows MSI 形式のモジュール(ZENMUforPC_5.4.x_x64.msi もしくは ZENMUforPC_5.4.x_x86.msi)を使って実行可能です。

MSI セットアップは管理者権限での起動が必要となります。自動的に昇格はしません。そのため管理者権限以外のユーザーで起動した場合はエラーとなります。64 ビット、32 ビットそれぞれ環境に応じた MSI をご利用ください。

5. 保証と責任の限定

5.1. 保証と責任の限定

1. 株式会社 ZenmuTech（以下 ZenmuTech）は、お客様が本ソフトウェアを使用することによって生じた費用については、一切負担しません。
2. ZenmuTech は、お客様が本ソフトウェアを使用したことに関連し、お客様又は第三者が被ったあらゆる損害（事業利益の損失、事業の中断、データの損失その他金銭的損害を含むが、これに限定するものではない）について、債務不履行責任、不法行為責任、その他法律上の請求原因の如何を問わず、また、損害の発生の予見可能性の有無を問わず、一切の責任を負いません。
3. ZenmuTech は、本ソフトウェアの操作ミス（ドキュメントに記載以外の操作）に起因する損害、お客様が維持管理する機器装置の障害に起因する損害、第三者プログラムに起因する損害、ウィルス、ハッキングその他不正アクセス行為に起因する損害、インターネット接続プロバイダー等第三者に起因する損害についても前項同様に、一切責任を負いません。
4. お客様が、独自にダウンロード、インストールしたソフトウェアおよび本ソフトウェアとは関連しない周辺装置に起因して生じる本ソフトウェアに対する影響についても、ZenmuTech は、一切の責任を負いません。
5. ZenmuTech は本ソフトウェアを、全ての瑕疵を問わず、かつ一切の保証を伴わない「現状渡し」および「提供可能な限度」で提供するものとし、本ソフトウェア、およびドキュメントに瑕疵が無いことを保証するものではありません。また、法令上の保証および条件を明確に否認し、当該保証および条件には商品性、品質適合性、特定目的適合性、正確性、平穏享有権および第三者の権利非侵害性を含むあらゆるものに関して、明示または黙示に関わらず、責任を負いません。

5.2. 利用上のご注意

以下に記載する要因によってデータ復元ができなくなる事象にご注意ください。データ復元ができなくなる事象は、分散ファイルの不整合に起因する場合を含みます。

1. 人為的行為に起因する場合
 - ZPC 本体と外部記憶媒体の接続が人為的行為によって切れたことによるデータ復元ができなくなる事象
2. ハードウェアまたは OS に起因する場合
 - ハードウェア障害または OS や他プログラムの障害によるデータ復元ができなくなる事象（※障害による OS の再起動を含む）
 - ZPC 本体と外部記憶媒体との接続、及び継続が困難または切断されたことによるデータ消失または破損

万一のデータ破損については保証いたしかねますので、データは定期的にバックアップを取っておくことを推奨します。

6. お問い合わせ先

6.1. お問い合わせをされる前に

お問い合わせの前に、以下をご確認ください。

1. 仮想ドライブが作成できない場合

- ご利用の外部ストレージは、外部ストレージ要件に合致していますか？（「[1.3. ZENMU for PC \(ZPC\) のシステム要件](#)」-「外部ストレージ要件」をご参照ください）
- iPhone Bluetooth LE をご利用の場合は、接続が不安定になった場合のトラブルシューティングは試されましたか？（「[3_ZENMU_for_PC_Ver5.4_マニュアル_外部ストレージ設定編](#)」-「[5.5.2. iPhone Bluetooth LE 接続ができなくなった場合のトラブルシューティング](#)」をご参照ください）
- Windows 共有フォルダーをご利用の場合は、事前に接続された（予め認証を行い、PC からアクセス可能である）状態ですか？（「[3_ZENMU_for_PC_Ver5.4_マニュアル_外部ストレージ設定編](#)」-「[7. Windows 共有フォルダー](#)」をご参照ください）

2. 仮想ドライブがマウントできない場合

- 外部ストレージは確実に接続されていますか？
- ZPC をご利用いただくには、外部ストレージに確実に接続する必要があります。
- また、前回アンマウント時に接続されていた外部ストレージに必ず接続されている必要があります。
- iPhone Bluetooth LE をご利用の場合は、接続が不安定になった場合のトラブルシューティングは試されましたか？（「[3_ZENMU_for_PC_Ver5.4_マニュアル_外部ストレージ設定編](#)」-「[5.5.2. iPhone Bluetooth LE 接続ができなくなった場合のトラブルシューティング](#)」をご参照ください）
- Windows 共有フォルダーをご利用の場合は、事前に接続された（予め認証を行い、PC からアクセス可能である）状態ですか？（「[3_ZENMU_for_PC_Ver5.4_マニュアル_外部ストレージ設定編](#)」-「[7. Windows 共有フォルダー](#)」をご参照ください）

6.2. お問い合わせ先

ZenmuTech サポート

- email : zenmu-support@zenmutech.com
- 対応時間 : 平日 10:00 ~ 18:00

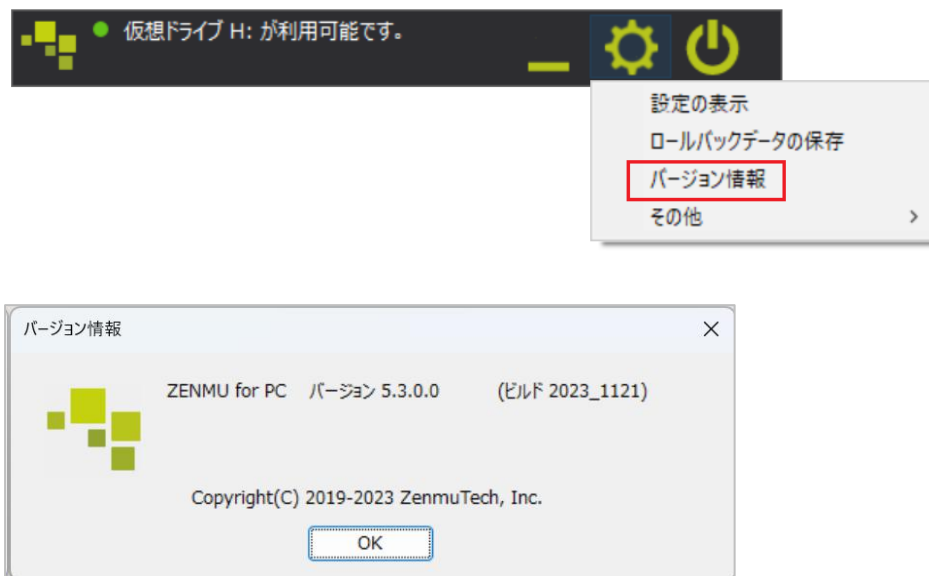
ZPC に関する最新のサポート情報は弊社ホームページも併せてご参照ください。

- ホームページ : <https://.zenmutech.com/support>

6.3. お問い合わせ時に必要な情報

- バージョン情報

ZENMU ツールバー中央のアイコン -「バージョン情報」をクリックして表示される、ZPC のバージョン情報をお知らせください。



- トラブル解析のためのログ

C:¥ZenmuTech¥ZenmuPC"配下（ログ、DB、XML）をフォルダーごと送付してください。

- インストール済のアプリケーション（セキュリティソフト、資産管理ソフト）

トラブルが生じている PC でご利用のセキュリティソフト、資産管理ソフトがあれば、お知らせください。

ZENMU for PC Ver5.4 マニュアル インストール・アンインストール編

発行日：2025 年 6 月

発行者：株式会社 ZenmuTech

連絡先：〒104-0061

東京都中央区銀座 8-17-5 THE HUB 銀座 OCT 804

TEL 03-6260-6195

FAX 03-6260-6197

URL: <https://zenmotech.com>

email : zenmu-support@zenmotech.com

無断複製・転載を禁じます。ZENMU for PC は、株式会社 ZenmuTech の製品です。本手順書記載のサーバー製品、OS、アプリケーション等各製品の著作権は、その製造元もしくは販売元に準ずるものとなります。